

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	2025年 2月1日		～	2025年 2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2025年 3月10日		～	2025年 3月 12日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 3月 13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されている。	お子様の発達や特性、心理的な課題についてエビデンスに基づいて専門的・客観的な分析を行えるよう、社員教育の機会を十分に設けている。 また、支援計画を立てる際は児発管の独断だけではなく広く職員の意見を聞き、複数の視点からお子様の姿をとらえられるよう工夫している。	引き続きお子様を理解するための学びを継続していく。セラピストとの連携も強化し、より充実した計画の策定を行う。
2	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。	お子様が「楽しい」と感じることができ、そこから主体的に学びを展開していけるようなプログラムを全職員が精力的に考えている。	お子様の「好き・得意・興味関心」をさらに理解し、そこをヒントにしたプログラムを引き続き考案していく。
3	事業所の職員から共感的に支援をされている。	お子様の幸せのためにはご家族様が幸せであることが不可欠だという前提を共有し、お子様の支援だけではなく、保護者様の気持ちに寄り添うための研修機会も設けている。	引き続き保護者様への支援も重要な役割であることを肝に銘じながら、包括的な支援を展開していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会	・地域に開かれた「ヒトツナパーク」の取り組みについて、ご利用者様への周知徹底が不足している。 ・時間や環境の課題から積極的に計画を検討できていなかった。	・ヒトツナパークへの参加機会、情報共有の機会を増やし、地域での交流を増やせるよう取り組みを行う。 ・まずは近隣の保育所等との関係構築をさらに強化し、地域に開かれた事業所を目指していく。
2	家族に対する家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会	・機会設定はしていたものの、参加しやすい日程調整や託児環境の整備が不足しており、ご参加できる保護者様が限られてしまった。	・次年度も実施する。環境整備の工夫を行い、参加しやすいさに配慮する。
3	非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練の実施	・法令に基づいて実施しているが、そのご報告や計画について保護者様に周知徹底できていない。	・実施計画や実施の様子についてHPやSNS、連絡ツールを用いて発信を行う。